



# 向台

5月号

平成27年5月1日

中野区立向台小学校

## 自分の力で「考える」

副校長 松井 貴子

山の手通り沿道では、ハナミズキやツツジが一斉に咲き始め、新緑が美しく生命の息吹を感じる季節となりました。「みどりの日」の頃は、イチヨウや楓の開花の時期で、その小さな花を見つけるのが毎年とても楽しみです。

新緑を見ると必ず読み直したくなる絵本の一つに『葉っぱのフレディ』があります。英語の教科書で扱われていたり、ミュージカルにもなって上演されたりしていますので、ご存知の方も多いと思います。作者はアメリカの著名な哲学者レオ・バスキア博士です。葉っぱのフレディと「いのちの旅」の神秘を体験し、大自然の不思議な力を通して、人生を考えることができる本です。「生」と「死」について考えさせられることも多いので、落ち葉の季節、秋や冬に紹介されることが多い絵本です。

しかし、春が過ぎ初夏を迎える季節に自分の力で「考える」ことをはじめた子どもたちに、共に歩む本として手渡したい一冊だと思っています。季節は巡り、生命は巡ること、自分の生き方を季節の中で、見つめ、考えてもらえたら素敵だと考えるからです。例えば、学校に置き換えて読んでみると、入学や進級の喜び、自分の学級・学校での居場所や役割、クラス替えや卒業等の別れの意味を深く考えることもできるように思うのです。

教え子のある卒業生が立ち寄ってくれた時「絵本はある意味、難しいよね。伝えたいことの意味の深さがあって。言葉が少ない分、創造力が必要なので。でも、自分に合わせて読めるので自由で面白い。」と話してくれました。自分の力で「考える」子どもを育てていくのに絵本の力を実感した瞬間でした。

さて、【本校の教育目標】と目指す児童の姿は、  
◎考える子 分かり、できることを喜ぶ。  
学んだ事柄を進んで活用できる。自らの課題を追求できる、探求しようとする。

◎思いやりのある子 自己を見つめ、他者を理解し、よりよく生きようとする。多様なコミュニケーション能力を身に付け、社会性を高めようとする。

◎元気な子 心身の健康を高めようとする。  
です。重点目標は、「考える子」です。自分の力で考えるには基となるものがが必要です。ですから、その基盤となる心の教育にも力を入れています。

その一つの取組として今年も、毎週金曜日の朝、「パワーアップタイム」に保護者・教員による本の「読み聞かせ」をしています。子どもたちに、「自分の力で考える」を育むためにも、自己を見つめる力や他者を理解する力を培うためにも続けていきたいと思っています。

今月は運動会があります。児童会で決まったスローガンは「全力で、仲間と目指そう、優勝旗」です。あきらめずに挑戦し、成長の喜びを共に認め合い、高め合う絶好の機会としていくには、葉っぱのフレディの親友ダニエルのような仲間の存在は欠かせません。そしてまた、学級、学年、学校を支えてくださる太陽や月のように絶えずエネルギーを送ってくださる温かい保護者や地域の皆様の力が必要です。子どもたちへの応援の声かけや健康管理、時には練習のつらさ等の話にじっと耳を傾け、乗り越えていけるように、今年もお力添えの程よろしくお願ひします。

### <お知らせ>

学力向上アシスタントが5月7日より学習支援に入ります。

★小泉 大樹先生 木曜日 ★増子 昌邦先生 火曜日・金曜日

※ 算数の授業を中心に、1・2年生は国語、3～6年生は理科にも入ります。

5月の生活目標

落ちつきのある生活をしよう。